



清水 康之（しみず・やすゆき）

NPO 法人 自殺対策支援センター ライフリンク 代表
厚生労働大臣指定法人 いのち支える自殺対策推進センター（JSCP） 代表理事
一般社団法人 自殺対策全国民間ネットワーク 代表
超党派「自殺対策を推進する議員の会（議連）」アドバイザー

《略歴》

1997年 NHKに入局

2001年 『クローズアップ現代』で、自殺で親を亡くした子どもたちを一年がかりで取材。「お父さん、死なないで ～親が自殺 遺された子どもたち～」を放送。その後も、NHK報道ディレクターとして自死遺児や自殺で亡くなった人の遺書、自殺対策等について取材を続けるが「推進役」のいない日本の自殺対策に限界を感じ、2004年春にNHKを退局。

2004年 NPO法人自殺対策支援センターライフリンクを設立。同代表に就任。

2005年 国会議員会館で自殺対策をテーマにした初のシンポを企画・開催。

2006年 「自殺対策の法制化を求める3万人署名(結果10万人分集まる)」を企画・展開して、「自殺対策基本法」の成立に貢献。

2009年 内閣府特命担当大臣らで作る『自殺対策緊急戦略チーム』メンバーとして内閣府参与に就任（2011年8月まで）。『自殺対策100日プラン』の取りまとめ役等を担う。

2016年 自殺対策基本法施行から10年目の節目に、超党派「自殺対策を推進する議員の会」アドバイザーとして、基本法の大改正にも関わる。

2019年 一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）を設立。同代表理事に就任。

2020年 JSCPが、厚生労働大臣指定法人として業務を開始する。